



# 灯油流出事故

ちょっとした心掛けが、暮らしと環境を守ります。



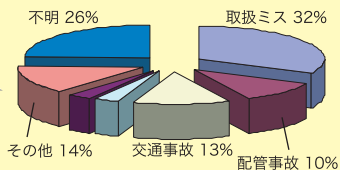
吸着マットによる油除去(吸着)作業



多発する水質事故。平成19年度はなんと224件。  
そのうち、35%が配管破損・取扱ミスなどによる灯油流出事故なのです。

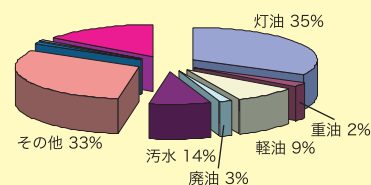
水質事故原因割合

水質事故における事故原因の42%を取扱ミス・配管事故が占めています。



平成19年度千曲川流域水質事故原因別件数

平成19年度水質事故発生件数の35%が灯油流出事故。



## 灯油流出事故を防ぐ5カ条

- 灯油の移し替え中は、その場を離れない!
- 燃料バルブの閉め忘れはないか、必ずチェック!
- ホームタンクには防油堤を! (漏れた灯油を受ける受け皿)
- 古い灯油は、廃棄物処分所やガソリンスタンドへ!
- 配管のこまめな点検と、配管まわりの除雪!

「流出事故を起こしちゃった!」「河川に油が浮いている!」そんなときは・・・ たちにお近くの消防署や市町村、県地方事務所、又は水濁協事務局(下記)へ通報してください。

信濃川水系水質汚濁対策連絡協議会

千曲川流域部会事務局：国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所 管理課

〒380-0930 長野市鶴賀字峰村74番地

☎026-227-9261

水質汚濁対策連絡協議会 (水濁協)とは

流域内の国・県・市町村、水道事業者などが連携し、水質の汚濁防止や水質事故の緊急対応、水質保全の事業を実施するための組織。それぞれの河川に設置されています。